

2021年3月15日

## 日本実務教育学会 投稿規定

### 1. 投稿論文種別

#### (1) 研究論文 (Research Article)

実務教育・実務家教員に関する独創的で学術性の高い研究成果を記述したものであり、当該分野における理論・実証研究の発展に寄与すると認められるもの。

#### (2) レビュー論文 (Review Article)

実務教育・実務家教員に関する学術論文や実践報告等に関するシステムティックレビューを行い、当該分野における現在の研究・実践の到達点や今後の方向性を明らかにしたもの。

#### (3) 研究ノート (Research/Practice Note)

研究論文のように知見は整理されていないものの、実務教育・実務家教員に関して今後の研究・実践の発展に結びつき得る気づきや提言を記述したもの。

#### (4) 実践報告 (Practice Report)

主に実務家教員が、実務(分野は問わない)に関わる最新の実践事例を記述したものであり、関連分野における実践や研究の発展に寄与すると認められるもの。

### 【投稿規定】

1. 投稿者は、日本実務教育学会の個人会員もしくは個人会員のグループであること。
2. 日本実務教育学会の倫理規定に則り、論文等を投稿すること。
3. 論文等は未発表のもので、オリジナルな内容であること。他の学会誌・紀要等に投稿し査読を受けている場合、二重投稿は認めない。
4. 「拙著」「拙稿」等の表現や研究助成・共同研究者への謝辞等、投稿者名や所属機関が判明・推測できるような表現は使用しないこと。ただし、これらの記載が必要な場合は、採択決定後に加筆することができる。
5. 論文等の投稿は、専用ウェブページより電子媒体のみ(MSワードまたはPDFファイル)で受け付ける。紙媒体で送付されたものは査読の対象としない。
6. 論文等原稿の体裁については、次の点を厳守すること。
  - (1) A4版・横書き(40字×36行)を基本とし、本文、図、表、注、引用文献を含めて、研究論文及びレビュー論文は15頁以内、研究ノート及び実践報告は10頁以内、書評は5頁以内とする。規定頁数を超過した論文等は査読の対象としない。
  - (2) 別途、論文タイトル、著者名、所属、連絡先を記載した表紙を付すこと。なお、表紙は頁数に含めない。
  - (3) 全角文字の大きさは10~11ポイントとし、余白を上30ミリ、下35ミリ、左右30ミリとする。

- (4) 本文には、適宜、見出し（前後に1行スペース）、小見出し（前に1行スペース）を付ける。「注」及び「引用文献」の前にも1行スペースを入れる。
  - (5) 図、表は、本文中の適切な箇所にレイアウトして作成する。
  - (6) 注は、脚注ではなく原稿末尾にまとめて記載する。
  - (7) 引用文献は、邦文、欧文を含めてアルファベット順とし、注の後にまとめて記載する。
- 7. 締切日は、毎年11月末日とする。
  - 8. 本誌に掲載された論文等の著作権については本学会に帰属するが、著作者自身が自己の著作物を利用する場合には、本学会の許諾を必要としない。

以上